松代公民館新聞
発行所
新潟縣東頸城郡松代村大字松代2088番地ノ8
電話松代1番
松代公民館
編輯兼発行人
館長 佐藤秀雄
印刷所
松代印刷所
新潟縣東頸城郡松代村松代2088
電話(松代)26番

村議会議員候補者噂の人々

出でよ手腕家 重要問題山積の村行政

四月三日より村議会議員選挙候補者の届出受付開始、定員廿二名のところ現在出馬が安楽組の一人名の候補者があるようだ、先づ総元締の松代よりひろってみよう

〔小荒戸〕富沢和吉氏(現)小部落なれども部落一丸となり再び当選することであろう

〔太平〕富沢敏氏(新)小部落一丸の内幕は一寸判断できかねる一つの大難局を背に又職域柄他部落よりも札の獲得を目ざして活躍せんと上町有志の後援あつて準備中だ

〔宮刈〕関谷義雄氏(現)八千人の関谷政一郎氏(現)の手腕をお台所を唱え口八丁の手腕家、全国区を相手にその活躍は席のあたたまる暇のない

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に偉大なるもの、メイドの土産として今一期と望んでおり一名の議員を出した有名な部落、油断大敵

〔田沢〕色々の下馬評が飛んでいる

〔会沢〕万羽茂作氏(新)小野島啓太郎氏(新)前者か後者かまだ判明しない由、両人の立候補せばまづ苦戦組

〔清水〕秋山利作氏(現)秋山幾蔵氏(新)他敵も余り侵出せず両人共楽々当選は確実

〔桐山〕石沢昌美氏(新)農協の養蚕技術員を辞して出馬、札が餘つて他に譲つてやってもよい楽観するだけ安楽組

〔大伏〕柳正武氏(新)小島隆識(新)前回も二人の議員を送つた部落先づ両人共当選確実

〔孟地〕柳藤重氏(新)前回は学島へと協定出来ている所なる人が今回はこのまじめなる人格をめぐつて当選は確たるものとみられる

〔片桐山〕山岸武保氏(新)滝沢部落と交互協定の所柳まづ当選

〔中子〕齊木誠一郎氏(新)僅か十戸の小部落、他何れに喰い込むか相当の苦戦は展開されるものであろう

〔池尻〕関谷菊治氏(新)前回は千年に譲り平穏なりし部落なれども今回は逸早く出馬を表明し相当の苦戦組

〔蓬平〕若井金吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清氏(現)一部落より一人が当選確実と見られ一人が他より相当喰い込みもあることと予想される、他に小堀関右衛門氏との風評あるが確実な動きはない

〔小屋丸〕市川文次郎氏(現)土木委員長として働いてくれた手腕家、再出馬で小屋丸との運動をされることであろう

〔下山〕宮沢亮一氏(現)連盟一人

〔宮沢〕若月清山岸秀治

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

〔蓬平〕若井幸吉氏(新)大部落に一人入り乱れての競争、その当落は楽観禁物

〔宮刈〕若月清山岸秀治

〔宮沢〕若月清

〔宮刈〕若月正近

〔柳藤〕小島角一郎

〔中子〕齊木利栄

〔宮刈〕若月正近

〔蓬平〕宮沢清宮沢倉治

〔田沢〕関谷新作

〔池尻〕佐藤常雄

防波堤の補強を急げ

国民の四割以上を占める農村心となることは定説であるにお金が日本銀行発行高の一、五割しかない(われわれはこの調査が事実十二月現在)とすれば背筋がゾッとする先日のラジオで思いである。

二十五年度の所得税の確報じている。十二月といえば農定申告で当地方の農家の大村に一番お金の部分が納税圏外であることある時期の筈だを農家自体が驚いた程であるが、かつて札のるがこのラジオを聞いた尺税があったとるほどと肯ける点がある。かなかったとか明治の近代社会建設もそういわれた時代をでの通り社会的資本蓄恩うと夢のような気がする。

元来安定した農業は消費社会が中建設の根底になるので其の期間はこれ等産業の国家的負担が重くなることは当然うがそれにしても昭和初期の農村恐慌を体験して来たと云えよう。農村の戦後復興に堪え得た期間が大体昨年迄だったのではなかろうか。要するに農村及び農家先日のラジオで思いである。

昨年迄にすっかりネボリ上げられると共に国民としての平均水準より沈んだかを念頭にして生産資本を蓄積しより高き再生産のため唯一のトリデと化している農協が沈むことあるいは為政者があるいは為政者が知って平均水準線附近に計画的に投資を行った村あまりにも皮肉な現象ではない。農家を維持する為に税法のがあったらうか、又個人でサジ加減をしたのかの何れ生産コスト引下げに徹底的に努力を惜しまなかった人がつにならっても他の社会層か何人あったろうか。事此処も農村や農民を瀕死にされ余りほめた事ではない。兎に角農村はジリ貧状態にあは到つては「農家」と云う家るみじめな地位に置くことも絶対的な土地及びこれに角農村はジリ貧状態にあはないと思われる。

農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

即ち農村の資本蓄積は協同組合によつて行われ、農村の再生産投資の大部分を協同組合が中心となり、生産コストの下げ生産物の販売は既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。和が保たれ世界の豪華船が農村にも横付けされようとしている。

今これこの防波堤の補強改築の急を告げる時は他にないと思われる。

投票所を増設

池尻と下山に

四月三日の選挙の告示を初めとして村選管委会ではこれが執行の万全を期すためこの日程に基いて各々審議した。

(一)投票管理者及び代理者の選任について

第一投票所 松代公民館
管理者 千年太平小荒戸田沢
代理者 鈴木 芳平

第二〃 蓬平分校
管理者 柳幡 藏
代理者 蓬平分校

第三〃 清水小学校
管理者 小堀長平
代理者 若井金八

第四〃 桐山分校
小山菊次郎 寺崎峰吉

第五〃 小屋丸分校
小屋丸 池の畑
市川一郎 市川源作

第六〃 海老分校
海老東山 若月千代治 石沢弁次郎
仮沢小学校 大伏孟地中子学島

第七〃 下山分校
宮沢英吉 宮沢一太郎

(二)選挙長及代理者選任

〃 選挙長 柳幡藏 鈴木芳平
〃 代理者 鈴木 芳平

(三)開票管理者及代理者の選任について

〃 開票管理者 柳幡 藏
〃 代理者 鈴木 芳平

(四)開票管理者及代理者の選

第八〃 滝沢分校
小島源次郎 柳才次郎 滝沢片桐山

第九〃 池尻派出所
荒瀬佐藤勇平 佐藤兼太郎

第十〃 下山分校
宮沢英吉 宮沢一太郎

選挙運動費用

四月執行される村長村議会議員選挙運動費用制限額は候補者一人につきそれぞれ次の通り(公選法一四〇ノ一、三)

議会議員一般選挙二七〇〇円
村長選挙一一七〇〇円

(四月廿三日)の両選挙執行にも就任するものである

村長(四月廿日)村議会議員以上の通りであるがこれは

本郡のトップ

村消防團の竿頭綬を授與さる

先般郡より表彰旗を授与された村消防団は此度更にその優良成績を認められて竿頭綬を授与されることになり現団長永年勤続の現団長柳貞輔氏も表彰の栄に浴し四月十一日この栄の表彰式参列のために柳団長が柏崎に出張することになっている

昭和二十六年度 松代高校入試合格者

井上正美 高橋政栄
佐藤元芳 高橋春夫
高橋俊一 高橋彰
倉石勇 関谷栄
山岸誠司 富沢忠吉
丸山惠一 齊木フジノ
小堀止治 市川進
やがて講和によって世界の 富沢達司
関谷厚樟 中村マサ子
米持博 五十嵐宣雄
関谷達治 室岡四一郎
齊木新一郎 西片徳重
佐藤公男 石口秀雄
即ち農村の資本蓄積は協 柳克治
同組合によつて行われ、農 杉田篤子
村の再生産投資の大部分を 山岸和子
協同組合が中心となり、生 佐藤健一
産コストの下げ生産物の 久保田文治
市場獲得等又組合を通じて 南雲慎輔
行われると共に農協を中心 南雲敦
として労働扇備及び労力調 丸山定一
節を如何になすべきかを深 本山美千明
く深究し其現すべきではな 久保田稲雄
かろうか。 田辺茂雄
組合とは設備及び事業を百 竹内清
%利用して始めてその真価 本山恭子
を得るものであることを特 久保田悦子
に強調したい。この点が他 佐藤園子
の会社や株式組織と異る特 高沢サダ
点であり、出資は常に利 柳信雄
用によつてのみ償還される 小島昌芳
のである。 石沢眞次
とに角農協は農家にとつ 山平山岸厳
ては防波堤でありアリの巣 桐谷柳讃吉
である、積極的に利用し積 寺崎シズ子
極的に農協の増強を全組合 (順序不同)
員が眞剣に考えるべき時で
なかろうか。

私は茲に事業や経営内容を論じようとは思わないが時と場合によつては総花的事業を一掬して主力をある一点に絞角度に傾斜する手もあると思われる。それ等は全組合員とわれわれの代表に経営や事業にたずさわる実際経験者が三位一体となつて探し出すべきことと思う。

所で農村を代表する團体は農業協同組合以外にない農協こそ実に農村の防波堤だ。

終戦直後農業会を解体し新しい防波堤を築いた筈であるが、旧防波堤を模造した所が多く過去五ケ年間の荒波に既に破損箇所が目立ち全国的に農協が防波堤としてあやぶまれて来ている。

小堀止治 市川進
やがて講和によつて世界の 富沢達司
豪華船が農村にも横付け 中村マサ子
されようとしている。 五十嵐宣雄
今これこの防波堤の補強 室岡四一郎
改築の急を告げる時は他に 西片徳重
ないと思われる。 石口秀雄
即ち農村の資本蓄積は協 柳克治
同組合によつて行われ、農 杉田篤子
村の再生産投資の大部分を 山岸和子
協同組合が中心となり、生 佐藤健一
産コストの下げ生産物の 久保田文治
市場獲得等又組合を通じて 南雲慎輔
行われると共に農協を中心 南雲敦
として労働扇備及び労力調 丸山定一
節を如何になすべきかを深 本山美千明
く深究し其現すべきではな 久保田稲雄
かろうか。 田辺茂雄
組合とは設備及び事業を百 竹内清
%利用して始めてその真価 本山恭子
を得るものであることを特 久保田悦子
に強調したい。この点が他 佐藤園子
の会社や株式組織と異る特 高沢サダ
点であり、出資は常に利 柳信雄
用によつてのみ償還される 小島昌芳
のである。 石沢眞次
とに角農協は農家にとつ 山平山岸厳
ては防波堤でありアリの巣 桐谷柳讃吉
である、積極的に利用し積 寺崎シズ子
極的に農協の増強を全組合 (順序不同)
員が眞剣に考えるべき時で
なかろうか。

私は茲に事業や経営内容を論じようとは思わないが時と場合によつては総花的事業を一掬して主力をある一点に絞角度に傾斜する手もあると思われる。それ等は全組合員とわれわれの代表に経営や事業にたずさわる実際経験者が三位一体となつて探し出すべきことと思う。

松代中学校便り

第二回松之山スキー大会初出場

去る三月十、十一日、松之山スキー連盟主催第二回スキー大会が松之山凌雲閣前の広場で行われた。当校から選手六名が参加、初出場で練習も不充分であつたが国体参加選手の中に混つて堂々とたたかつた

成績は次の様であつた

新復合前半(滑降)入賞
三年生　笠原清

ラップタイム賞
柳卯八郎

大松山へスキー行軍

去る三月十日松中三百五十名の全校生徒は松之山大松山スロープにスキー行軍を行つた。長い冬の間吹雪のため教室にとじこもつていた生徒は雄大な春山で春陽を浴び、遠く妙高、八海の山々を眺めながら一日中たのしくすごした

第四回卒業式挙行

去る三月二十五日松代中学第四回卒業式を挙行、卒業生百八十名にそれぞれ卒業証書を授与、義務教育九カ年の課程を終えた卒業生は各々就職に進学に希望を胸に抱き住みなれた学舎を後に巣立つた。就職及び進学状況は次の通り

▲家庭に入る者男五九女三六▲定時制高校男三九女一八▲全日制高校男一女二八▲紡績工場女一九▲染色工場女一▲通信関係男一▲事務員男一▲大工男一▲職業補導所男一▲家事見習女一

この日賞をうけた者

①学課優良賞を受けた者

学年	男	女	計
一年	二五	一八	四三
二年	二九	二〇	四九
三年	二三	二一	四四
計	七七	五九	一三六

②進歩賞を受けた者

一年	三	一	四
二年	三	三	六
三年	二	二	四
計	八	六	一四

③一カ年皆勤した者

一年	二六	三一	五七
二年	二一	二七	四八
三年	一一	一四	二五
計	五八	七二	一三〇

④三カ年皆勤者

三年	六	一一	一七

⑤功労賞を受けた者

生徒長として	小堺勉
学校新聞推進	大坂屋広子
野球に活躍	野球チーム
生徒長科学研究	山岸益夫
科学研究	孟地科学班
災害復旧に努力	万羽ヒデ　秋山ヨシ　小山チヨ　金井ノリ

お前百まで　わしや九十九まで
松代敬老会

来る四月八日午前十時開会光風婦人会主催で小学校で松代在住七十才以上の長寿者を祝う事になつた、リクレーションとして、炭鉱節、古代寺、忠心蔵三段目、浪曲、踊、俗曲、舞盛沢山、尚該当者のみでなく、一般者の参加も観迎するため目下準備中である

自動車と道路

この話は自動車交通界の泰斗近藤工学士の発表で実に面白いと思うから皆さんにお傳えする。

日本の自動車の数は凡そ三六万台あります。之を一台当り人口に割り当てると全国では二三五人に一台、本県では五一四人に一台、米国では二、七人に一台、之は文化の程度を表す標示計の様なもので本県は非常に文化が遅れている事になります。昭和廿五年度の自動車を通す為の道路予算を見ると先づ本県分を国費共合計しますと二億三千五百四十万で本県の自動車台数四七八四台で平均自動車一台当に総予算を割当ますと五万五千六百円日本全国分は三万一千五百円であります。又此予算を人口一人当りに割当てますと本県は一三九円、全国は一三四、二〇円であります。一台当りの方は自動車が少いから高額になり人口一人当りは稍々全国並であります。神奈川県は一人当り二五七円で如何に道路費を多く使つてあるか伺われる一台当りの方では熊本県は六万四千七百円となつて居ります。又方面を変えて云いますと自動車一台購入費八十万円とします。日本全国の自動車の寿命は八年位ですから現在は約四〇万台ですから之に掛け合せますと三二億万円になり年々四億円づつ自動車を補給することになります。

自動車の走行速度は時速一般六八粁高級道路では七六粁本県は約二五粁本郡二〇粁以内であります。自動車の最も経済速度は其の自動車の計画速度で大概は六〇粁から五〇粁であります。これより早く又は遅いのは不経済であります。今仮りに道路が修理又は改修されて経済速度に走れるとしますと費用節約前表一粁当りの概算で五、四四円で之を一日、一カ月、一年と略計しますと全国の台数を乗ずれば大変な節約になります。これは直接自動車だけの数を挙げましたが自動車がこれだけの能率を挙げると四囲の影響も甚だ大きいのであります。文化は道路からと切実に感じます。次に自動車と鉄道の比較も数字を以て例を挙げる事は略しますが西紀一九三一年から一九四八年迄の例を採りますと鉄道輸送料の逓減は遅々たるものでありますが自動車料金はこれに比し急速に安くなつて居り或る処に依つては鉄道より下廻つて居ります。これは要するに鉄道より自動車の進歩が早い事を表して居ります。ついでに機械化について申上げますが最近軽易な労働も機械化を利用することが非常に進歩しつつあります、本県では修路工手の不用が叫ばれて居ります。これは高速度の修理機械が現地に赴き一日三百人分も作業して帰る実情より推して積雪除雪等は割合簡単に片付くものと思われます。又中央よりの行政事務再配分についての勧告案によれば市町村は有力な活動力を必要としますから皆様も大いに関心を以つて頂きたいと存じます。(砂防事務所長広川甲午郎)

昭和23年バス1台1KM当り運行費　(計差 5.44)

費目	金額	百分率	道路完備後の節約百分率	金額
人件費	12円91	28.1%	60%	7円55
燃料	12 22	27.7	70	8 55
潤滑油	9 30	12.1	100	9 30
税金	1 85	3.6	100	1 58
車消却費	2 71	6.1	50	1 36
備品費	0 28	5.0	100	0 23
其の他	2 16	4.9	80	1 68
タイヤチューブ	5 54	12.5	60	8 32
修理	5 84		65	4 80
計	44.16			38 32

今年の農業

若月佐治郎

旧正月も終りあと一カ月の間に野立の準備を済ませて愈々本年度の生産に取りかかる訳ですが私共農家の仕事は毎年同じことをくり返している様な気がしてなりません。進歩が遅いと云われる山間地農業にも年一年といくらかの新鮮味がほしいものです。以下わが村の本年度の課題として是非取上げていただきたい二三の事柄について述べることとする。

㈠興農運動に伴う食糧の増産

緊迫化せる農家経済を生産増加により緩和する目的を以て食糧増産興農運動なるものが提唱されその一環として昭和廿六年産米の一割増産が叫ばれその運動要項として十一項目があげられていますがその中本村としてとり上げるべき点は、

①地力の維持増進

米は他作物に比べその生産が地力に依存する面が多く、生産量の七割迄が地力に左右されると云われているので家畜増殖による厩肥の利用と堆肥の増産により地力の増産を図るとともに土性の改良に努めていただきたい。その為には家畜の導入が先決問題であろう。

②優良品種の更新

増産のためには品種の選択が最も大切で昨年の稲熱病の発生も品種によりその被害の差が大きかつたから本年度の種下しにはこの点御留意下さい。

③撰種及種子消毒の励行

同一品種でも種籾の選別如何で発芽生育に大きな影響があるから塩水選等により選種は厳格にし稲熱病、胡麻葉枯病、馬鹿苗病の予防のために又春先の低温による苗腐敗病防除のためにも種子消毒は是非実行願いたい。この方法は大体おわかりと思われるが不可解の方には後程機会をみてお傳えする事とする。

④健苗の育成

苗半作の諺の如く増産の第一歩は何といつても健苗の育成である。その為には薄蒔(普通苗代では二合内外、保温折衷苗代では一合内外が適当と思われる)とし保温折衷苗代によるがよい。昨年は苗代時期の天候に恵まれたため保温折衷苗代と普通苗代の差が判然とせず尚一部には最初の試みのため稲熱病やメイ虫の被害をうけた人もあつたが育苗技術として最も優れたこの方法を勇敢に且積極的に取入れてもらいたい。尚昨年の経験に鑑みて改正すべき点については次号に掲載する予定である。次に苗代期に於る肥料の問題は前号で述べた如く三要素の配合には特に注意すべきである。

⑤水稲の秋落防止

「青作と自分の嫁は褒めるものでない」という諺は秋落現象を端的に表した言葉である。分蘖最盛期には今年こそはと思われた作柄も秋になるとき程でないのが恒例になつているところがあるがこれが学理的な原因は次回に譲るとして一般的な対策としては春先の客土と施用肥料の種類の選択が重要事項である。毎年秋落をする田圃の肥料には硫安や過燐酸石灰及び硫酸加里等の硫酸を含む肥料は成可く使わぬ様にしこれに替るべき石灰窒素尿素トーマス燐肥熔成燐肥塩化加里を使うようにしたい。尚このような所には多肥性の品種(新五号等)は発揺えると共に肥料も何回かに分施する必要がある。

⑥適期田植と除草回数確保

折角健苗を育成しても田植の時期を誤るとその効果を減殺されるから適期を見定めて作業を取り進め植付くべきでその日数は品種の早中晩生育の状況により一様でないが苗令は五―六令が適当と思われる。尚メイ虫の被害を考えなければならないが全般的に早蒔による早植が大切なことである。次に一番除草は根付いて稲色が出たらできるだけ早く着手し回数も少くとも三回は確保し止草は出穂前廿五日迄に終るようにすべきである。

⑦肥料の合理的施用

肥料の使い方については前号で概略述べておきましたので御参照願いたいが最近配合肥料も出廻つているから肥料配合がやかましいと考えられる方は配合肥料を使われれば安全と思われる。特に燐酸加里肥料の伴わない窒素偏重主義は厳に戒むべきである。

⑧病害虫防除

年々病害虫による被害は収穫高の一割以上といわれ昨年の被害も甚大であつたがこの苦い経験を生かして被害を最少限度に喰い止めることが何より大切でその為には予防によつて未然に防ぐ事と万一発生の場合は早期発見に努め共同で防除に当ることが最も効果が挙り且労力薬剤の面からも経済的である又現在の状況では噴霧器の台数が少なく中には全然ない部落もあるので防除器具の整備が先決問題であるから部落単位若しくは隣組単位で噴霧器を設備するようにしてもらいたい。

以上簡単に本年度増産のための必行事項とも云うべき事柄について申し述べた次第でこの外にも色々大切な事項もあり尚今迄に述べたうちでも説明の足りない所もありますが細い技術的の面は今後に譲ることとする。

㈡家畜の増殖

家畜が農業経営と密接な関係があり生産を昂めるにはどうしても家畜を取り入れなければならないことは今更申し上げる必要もありませんが一方私共農家の経済面からも畜産収入は米に次ぐ農家収入であるから今後益々家畜を殖し土地を肥やすと共に農家の懐もこやしていただきたい。

①仔牛の生産

自分の村に縣営の人工授精所があり乍ら今のところ村内飼育牝牛の四割に満たない種付率では心細い。牛を飼つていながら一年中に使うのは田搔きだけで後は厩の畜にしておくのは誠に勿体ない話だから、牝牛を飼育される方は今年から全部種付をしてもらいたい。但し肥育技術のある方はこの面に尚一層力を入れるべきでありましょう。

②豚

松代村で一番豚の頭数がふえた時は昭和十四年の百四十一頭で現在はその約三分の一である。昨年秋から養豚熱も非常に昂りつつあるが今後もこれが増殖に努め以前の最高頭数を凌駕する迄にしたいものである。

③山羊、緬羊

山羊緬羊は誰にも多易く飼育できる家畜で乳用山羊の品質のよいものを県内外から多数申込があるから今後購入される場合はつとめて品質のよいものを選ぶべきである。本年度当村山羊組合の事業として優良種牝山羊の共同購入が計画されている様だから希望者は山羊組合へ申込まれたらよい。緬羊も昨年春は価格が暴落したが其の後漸時持ち直して来ているし最近の繊維類の騰貴に依りその需要度は益々ふえることでしょう。

④鶏

本村にも昨秋村単位の養鶏組合が設立され飼育法の改善卵の共同出荷が活溌に行われつつありますがこの些細な鶏卵が畜産収入の王座を占め養蚕収入に近い額に上つていることは全く驚かされる事実ですが更に一戸当り二―三羽ふやし飼育法を改善すれば現在の養鶏収入の二倍にすることも決してむつかしい事ではないのですから資本の比較的少くて済み随時現金収入のある鶏は全戸で飼育しましょう尚生産された卵は其の場限りの高値に惑わされず全村挙つての共同出荷態勢に移すことが今后農村の行き方として最も大切な事です。

⑤兎

今年は兎年です。そのせいでもあるまいが最近兎毛皮の需要が大変多くなつて来たようです。小動物で金高は上らないが子供でも飼えるのだからせいぜい兎に力を入れて海外需要に応えていただきたい。

最後に最近の糸へん景気は大したもので今のような価格が何時迄続くか分らないがここ暫くは養蚕が大変有利と思われるから荒廃桑園も手入れをよくして松代村の桑葉は残らず利用したいものである。

農家経営は愈々深刻化するであろうが徒に都市周辺の農家のやり方をまねることでなしに私共に与えられた宿命的とも云うべき四囲の立地條件を最高度に活用することが今后に残された課題であるからお互に研究し合つて吾が村の生産をぐんぐんのばすべく努力致しましょう。

以上